

～プログラム～

モーツァルト:ディベルティメント へ長調 k-138  
シューベルト:ピアノ五重奏曲 イ長調 D.667「鱒」より  
ヴィヴァルディ:協奏曲集<四季>作品8より「冬」  
エルガー:愛の挨拶  
サラサーテ:序奏とタランテラ  
サラサーテ:2つのヴァイオリンの為のナバラ  
サラサーテ:チゴイネルワイゼン  
他

※曲目は当日変更になる場合もあります

～出演者～



桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ修了。

原田幸一郎、篠崎史紀、堀正文の各氏に師事。2004年よりハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団、並びにハンブルク国立歌劇場の第1ヴァイオリンアソシエイト・コンサートミストレスを12年間歴任。またNDRエルプフィル、シュトゥットガルト放送響、バイエルン歌劇場、フランクフルト放送響などで客演する。

ソリストとしてもウィーン交響楽団、ハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団などと協演している。2015年元日に、バッハのソナタがドイツの主要ラジオ局で生放送された。またハンブルクトリオ、KIZUNA Streichquartettとしてドイツハンブルクを中心に活動している。ハンブルクのエルプフィルハーモニーをはじめ、毎年ベルリン、ハンブルク、マイ

ンツなどドイツ各地でコンサートに出演。18年にはベルリン、ハンブルクでトリプルコンチェルトを、またロシア・サンクトペテルブルクのフィルハーモニーのコンサートシリーズ、ゴスラーでの音楽祭などに招聘され演奏した。新聞などで高い評価を受け、ZDF(ドイツ国営第二放送)、NDR(北ドイツ放送)に出演。またハンブルクトリオとしては、三回来日しており、東京・福岡・名古屋など全国ツアーをしている

NHKAM「すっぴん」やNHKFM「ベストオブクラシック」に出演。

「BRAHMSIADE」「SCHUMANNIA」「Live in St.Petersburg～Mendelssohn Piano Trios」各CDをリリース。

現在は国内に拠点を移し、国内主要オーケストラのゲストコンサートミストレスやソリスト、室内楽奏者として日本と欧州で活躍している。

九州室内合奏団(旧福岡室内合奏団)

平成元年に九州交響楽団メンバーを中心に結成。

音楽文化の向上と交流、質の高い音楽を提供することを目的とした合奏団として、少人数のアンサンブルから管楽器を加えた小編成のオーケストラまで、多彩な形態で年間20回を超える演奏活動を九州各地で行っている。

ファーストヴァイオリン	山下大樹 (ウィーン市立芸術音楽私立大学在籍中)
セカンドヴァイオリン	南 奈菜 (九州交響楽団ヴァイオリン奏者)
ヴィオラ	山下典道 (元九州交響楽団ヴィオラ奏者)
チェロ	永野紗佑里 (チェリスト)
コントラバス	井上貴裕 (九州交響楽団コントラバス奏者)
ピアノ	田中美江 (ピアニスト)